



Secure Equipment Access サービスの有効化

- [Cisco Secure Equipment Access サービス \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [SEA サービスの有効化 \(2 ページ\)](#)

Cisco Secure Equipment Access サービス

Cisco Secure Equipment Access (SEA) サービスは、Cisco IoT Operations Dashboard によって制御と管理が処理されるハイブリッドクラウドソリューションです。このオンプレミスコンポーネントは、対象の運用技術 (OT) 資産のあるリモートサイトに展開された、サポートされている産業用ネットワークデバイスで動作します。SEA サービスは、メンテナンス作業のために、特定の産業用 IoT リソースへのリモートアクセスをお客様とパートナーに提供することを目的としています。

前提条件

- 有効な IoT Operations Dashboard (IoT OD) 組織 (クラウドテナント) があることを確認します。ない場合は、<mailto:iotod-account-request@cisco.com> に要求を送信します。
- 組織内にアプリケーションマネージャと SEA システム管理者の両方のロールがあることを確認します。詳細については、[SEA のロールと権限に関する説明](#)を参照してください。
- IR ルータが Cisco IOS XE バージョン 17.15.1 以降を実行していることを確認します。
- IR ルータが、使用する IoT OD クラスタに応じて、us.ciscoiot.com または eu.ciscoiot.com へのアクティブなインターネット接続があることを確認します。

SEA サービスの有効化

process_workflow

産業用ルータで SEA サービスを有効にするための段階は次のとおりです。

1. [アプリケーション マネージャ サービスの設定](#) : IoT OD のアプリケーション マネージャ サービスを介して、必要な IR デバイスをオンボードします。
2. [IR ルータの設定](#) : アプリケーション管理のための IoT OD へのセキュアなトンネルを確立するように IR デバイスを設定します。
3. [リモートアクセスの設定](#) : IR デバイスに SEA エージェントをインストールし、SEA を介したターゲット OT 資産のリモートセッションを設定します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。